

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	九州国際大学
設置者名	学校法人九州国際大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
法学部	法律学科	—	8	—	12	20	13	—
現代ビジネス学部	地域経済学科	—		4	22	34	13	—
	国際社会学科	—		8	20	20	13	—
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

実務経験のある教員等による授業科目の一覧を大学ホームページ上に掲載し、公表する。
<http://www.kiu.ac.jp/about/disclosure/>

3. 要件を満たすことが困難である学部等 【該当なし】

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	九州国際大学
設置者名	学校法人九州国際大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<http://www.kiu.ac.jp/about/houjinabout/position/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	企業顧問	令和元年 6月5日～ 令和4年 6月4日	学校法人運営に、卒業生の視点、意見を採り入れ、管理運営機能の充実を図る。
非常勤	企業役員	令和元年 6月5日～ 令和4年 6月4日	同上
非常勤	元企業役員	令和元年 6月5日～ 令和4年 6月4日	学校法人運営に、学識経験者の専門知識、実務経験に基づく意見を求め、管理運営機能の充実を図る。
非常勤	弁護士	令和元年 6月5日～ 令和4年 6月4日	同上
非常勤	元国会議員	令和元年 6月5日～ 令和4年 6月4日	同上
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	九州国際大学
設置者名	学校法人九州国際大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>授業計画書(シラバス)は、教務委員会において開講前年度の9月以降に次年度開講科目の調整を行った後、シラバス作成要領等の検討を行っています。</p> <p>その後、1月に教員は各項目における記入上の注意事項等を纏めた「シラバス作成について(記載要領)」に基づいて、KIUポータルに学生が理解しやすいように作成することとしています。</p> <p>各科目担当教員が授業計画書(シラバス)を作成したのち、教務部長及び教務委員が記載内容等について確認を行い、3月に公開しています。</p>	
授業計画書の公表方法	http://www.kiu.ac.jp/campuslife/syllabus/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>授業科目の履修については、各授業の初回に科目担当者が、授業計画書(シラバス)を履修者全員に配布し、授業科目の到達目標と成績評価基準の説明を行い、履修が完了します。</p> <p>単位授与については、授業計画書(シラバス)に示された試験やレポート等の評価方法により、厳格な成績評価を行っています。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

学則及び修学規程において、GPAについて規定しており、GPAの算出方法については、以下のとおりです。

【成績評価とGPA】

評価	評点	GP	評価基準
AA	90点以上	4	到達目標をほぼ完全に達成している。
A	80点以上90点未満	3	到達目標を十分に達成している。
B	70点以上80点未満	2	到達目標を相応に達成している。
C	60点以上70点未満	1	到達目標を最低限達成している。
F	60点未満	0	到達目標を達成していない。
失格	受験失格	0	出席不足
欠席	試験欠席	0	試験を欠席
認定		対象外	他大学等で修得し、本学の単位として認定

【GPAの算出方法】

$$\frac{AA \text{ の合計単位総数} \times 4 + A \text{ の合計単位総数} \times 3 + B \text{ の合計単位総数} \times 2 + C \text{ の合計単位総数} \times 1}{\text{全履修登録単位数 (「F、失格、欠席」を含む)}}$$

全履修登録単位数 (「F、失格、欠席」を含む)

客観的な指標の
算出方法の公表方法

<http://www.kiu.ac.jp/campuslife/basic/>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

本学では、以下のようにディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与に関する方針）を策定しています。

本学の建学の理念である「塾的精神」による人材養成を基本理念とし、学則第1条に定める北九州の地域に立脚し、国際的視野を持った理論・実践両面に明るい人材を養成することを目的としています。本学の課程を修め、124単位の単位取得と必修等の条件を充たした上で、以下の項目を体系的に修得した者に学位を授与します。

【知識・理解】

- ①人文社会自然科学を基礎とした幅広い教養を身につけている。
- ②学位の専攻分野の専門的知識と技能を身につけている。

【思考・判断】

- ③幅広い教養と専門分野の知識から論理的に考える能力を修得しており、その知識を使って現代社会の問題を分析し考察することができる。
- ④現代社会の多様なフィールドにおける諸課題の解決に向けて、的確な学際的考察及び総合的判断ができる。

【関心・意欲・態度】

- ⑤現代社会の諸課題に対して自ら積極的に関心をもち続け、現代社会に貢献することができる。
- ⑥グループで協力しながら問題を解決する態度、生涯学び続け成長し続ける意欲を修得している。

【技能・表現】

- ⑦必要な情報を幅広く収集し、的確に整理・分析することができる。
- ⑧グローバル化した現代社会において、活躍できる高度なコミュニケーション能力を身につけている。

ディプロマ・ポリシーは、本学大学ホームページ上に掲載しているほか、大学案内、募集要項、入学後学生に配布される学生便覧等に掲載し、周知しています。

ディプロマ・ポリシーに示した能力を卒業生が修得できているか、教育課程表が適切に機能しているか点検・評価するために、アセスメント・ポリシーを策定しています。

本学の卒業要件については、全学部とも、本学に4年以上在学し、各学部の教育課程に従い、124単位以上を修得しなければなりません。

卒業判定については、卒業要件を充足した学生について、教務委員会において対象者の原案を作成し、教授会で意見を聴取したうえで、学長が卒業を認定し、卒業証書・学位記を授与しています。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

<http://www.kiu.ac.jp/about/kiuabout/policy/>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	九州国際大学
設置者名	学校法人九州国際大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.kiu.ac.jp/about/houjinabout/report/
収支計算書又は損益計算書	http://www.kiu.ac.jp/about/houjinabout/report/
財産目録	http://www.kiu.ac.jp/about/houjinabout/report/
事業報告書	http://www.kiu.ac.jp/about/houjinabout/report/
監事による監査報告(書)	http://www.kiu.ac.jp/about/houjinabout/report/

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:学校法人九州国際大学事業計画書 対象年度:令和2年度)
公表方法: http://www.kiu.ac.jp/about/houjinabout/report/
中長期計画(名称:学校法人九州国際大学第三期中期経営計画 対象年度:令和元年度～令和5年度)
公表方法: http://www.kiu.ac.jp/about/houjinabout/managementplan/

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: http://www.kiu.ac.jp/about/kiuabout/tenken/

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: http://www.kiu.ac.jp/about/kiuabout/tenken/

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 法学部 法律学科
教育研究上の目的 (公表方法: http://www.kiu.ac.jp/about/kiuabout/spirit/)
<p>(概要)</p> <p>法学部は、法律の専門的・体系的知識に基づく法的思考力を修得させ、もって理論実践両面に明るい人材を養成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法学部法律学科は、法律の専門的・体系的知識に基づく法的思考力を修得させるとともに、フィールドワークを通じて実践力を獲得させ、もって地域の行政・企業分野において実務を遂行できる人材、及び企業活動に積極的に関与できる法律のプロフェッショナルを養成する。
卒業の認定に関する方針 (公表方法: http://www.kiu.ac.jp/about/kiuabout/policy/)
<p>(概要)</p> <p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①人文社会自然科学を基礎とした幅広い教養を身につけている。 ②法律学の専門的知識及びその活用方法を身につけている。 <p>【思考・判断】</p> <ul style="list-style-type: none"> ③リーガルマインドに基づき、基礎的な法律の知識から論理的に考える能力を修得しており、その知識を使って現代社会の問題を分析し考察することができる。 ④現代社会の多様なフィールドにおける諸課題の解決に向けて、的確な学際的考察及び総合的判断ができる。 <p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑤現代社会の諸課題に対して自ら積極的に関心をもち続け、現代社会に貢献することができる。 ⑥グループで協力しながら問題を解決する態度、生涯学び続け成長し続ける意欲と態度を身につけている。 <p>【技能・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑦自己の思考・判断のプロセス及び結果を他者にわかりやすくプレゼンテーションできる。 ⑧良好な人間関係を構築するためのコミュニケーション能力を身につけている。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法: http://www.kiu.ac.jp/about/kiuabout/policy/)
<p>(概要)</p> <p>本学科では、定められたディプロマ・ポリシーを達成するため、以下のように教育課程を編成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 共通教育科目では、教養教育を担うため全学部共通で設定しており、大学での学修の基礎となる知識やスキル、そして豊かな人間性と高い教養を身につけるべく、4つの科目群に区分します。 (2) 専門教育科目では、専門教育科目を専門科目群、特殊講義科目群、リスクマネジメント科目群、資格講座科目群、関連科目群、演習群の6つに科目群区分します。 <ul style="list-style-type: none"> ①専門科目群では、学生に学年を追って段階的に科目同士の関連性や法的体系性を認識させ、その関連性・体系性から導かれる法的論理力・思考力を涵養させるべく、「憲法Ⅰ・Ⅱ」、「法律学入門Ⅰ・Ⅱ」、「民法総則Ⅰ・Ⅱ」等を配置します。また、「物権法」、「債権総論」等の民法をはじめ、「刑法総論」等を配置します。さらに、プレゼンテーションや協働能力の向上のために、「キャリアチュートリアルⅠ～Ⅳ」を配置します。本科目群は、DP (知識・理解) / (思考・判断) / (関心・意欲・態度) / (技能・表現) に強く関連します。 ②特殊講義科目群では、専門科目群だけでは不十分な法律科目の学習を補助する科目

や法律に限らない特殊な内容を学ぶための「法政特殊講義1～8」を配置します。本科目群は、DP（知識・理解）／（思考・判断）／（関心・意欲・態度）に強く関連します。

- ③リスクマネジメント科目群では、「リスクマネジメントコース」に所属する学生が、将来の進路に応じて、リスクマネジメントの知識を入門から実践まで体系的に学ぶことができる科目を配置します。本科目群は、DP（知識・理解）／（思考・判断）／（関心・意欲・態度）／（技能・表現）に強く関連します。
 - ④資格講座科目群では、「資格取得コース」に所属する学生が、関心や将来の進路に応じて、資格取得を目指すことができる科目、「法職資格講座1～5」を配置します。本科目群は、DP（知識・理解）／（思考・判断）／（技能・表現）に強く関連します。
 - ⑤関連科目群では、教員免許取得に必要な科目やコミュニケーションスキルを養うための科目等を配置します。本科目群は、DP（知識・理解）／（技能・表現）に強く関連します。
 - ⑥演習群では、それまで修得できた知識やスキルを統合するとともにコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、課題発見力、課題解決力等を養成するため、「専門演習A・B」を配置します。本科目群は、DP（知識・理解）／（思考・判断）／（関心・意欲・態度）／（技能・表現）に強く関連します。
- (3) 特別教育科目は、学生の将来の進路を支援するために特別に置かれている科目です。「スポーツ特別教育科目」を体系的に配置します。本科目は、DP（知識・理解）／（思考・判断）／（関心・意欲・態度）／（技能・表現）に強く関連します。

入学者の受入れに関する方針

(公表方法：<http://www.kiu.ac.jp/about/kiuabout/policy/>)

(概要)

【知識・技能】

- ①高等学校の教育課程を幅広く修得している。
- ②高等学校までの「国語総合（現代文）」や「英語」の履修を通じて、基礎的なコミュニケーション能力を身につけている。

【思考・判断・表現】

- ③現代社会の問題について、知識や情報をもとに筋道立てて考え、その内容をわかりやすく表現できる。

【主体性・協働して学ぶ態度】

- ④クラブ活動、委員会活動や社会奉仕等を通じて、多様な人々と協働して主体的に学ぶ姿勢を身につけている。
- ⑤法律学の知識やリーガルマインド及び学内外での様々な体験を社会で活かしたいという目的意識と意欲がある。

学部等名 現代ビジネス学部 地域経済学科
教育研究上の目的（公表方法： http://www.kiu.ac.jp/about/kiuabout/spirit/ ）
<p>（概要）</p> <p>現代ビジネス学部は、21世紀の社会を展望し、グローバル化の進む世界や地域のビジネス組織、すなわち企業、自治体、民間団体などで活躍できる豊かな教養と知識を有する人材を養成する。</p> <p>・現代ビジネス学部地域経済学科は、経済学や経営学に関する基本的な知識を身につけ、企業や地域の組織体での就労を通して産業や地域社会に貢献する中堅的な人材を養成する。</p>
卒業の認定に関する方針（公表方法： http://www.kiu.ac.jp/about/kiuabout/policy/ ）
<p>（概要）</p> <p>【知識・理解】</p> <p>①人文社会自然科学を基礎とした幅広い教養を身につけている。</p> <p>②経済学や経営学の専門的知識及びその活用方法を身につけている。</p> <p>【思考・判断】</p> <p>③ローカルな視点とグローバルな視点を併せ持ち、現代の経済、社会、文化について論理的に考えて分析し考察することができる。</p> <p>④現代社会の多様なフィールドにおける諸課題の解決に向けて、的確な学際的考察及び総合的判断ができる。</p> <p>【関心・意欲・態度】</p> <p>⑤地域社会の諸課題に対して自ら積極的に関心をもち続け、地域社会に貢献することができる。</p> <p>⑥多様な人々との交流、連携、協働を通じて、社会人として成長し続ける意欲と態度を身につけている。</p> <p>【技能・表現】</p> <p>⑦自己の思考・判断のプロセス及び結果を他者にわかりやすくプレゼンテーションできる。</p> <p>⑧良好な人間関係を構築するためのコミュニケーション能力を身につけている。</p>
教育課程の編成及び実施に関する方針 （公表方法： http://www.kiu.ac.jp/about/kiuabout/policy/ ）
<p>（概要）</p> <p>本学科では、定められたディプロマ・ポリシーを達成するため、以下のように教育課程を編成します。</p> <p>(1) 共通教育科目では、教養教育を担うため全学部共通で設定しており、大学での学修の基礎となる知識やスキル、そして豊かな人間性と高い教養を身につけるべく、4つの科目群に区分します。</p> <p>(2) 専門教育科目では、専門教育科目を基礎科目群、基幹科目群、コース科目群、関連科目群、演習群の5つに科目群区分します。</p> <p>①基礎科目群では、グローバル化の進む経済社会、地元北九州の地域特性についての知識を修得させるために、「グローバル経済と生活」、「北九州学」を必修として配置します。また、PBL型の教育により地域の諸課題の解決方を学生に考えさせることで課題発見力、プレゼンテーション能力、課題へのアプローチ方法、実践力等を身につけるべく、「プラン&プラティクス」を配置します。本科目群は、DP（知識・理解）／（思考・判断）／（関心・意欲・態度）／（技能・表現）に強く関連します。</p> <p>②基幹科目群では、経済学の基礎科目である「ミクロ経済学」、「マクロ経済学」、「地域経済論入門」を学科の必修科目として配置します。さらに経営学的な思考も修得させるために「経営学」、「簿記論」、「経営組織論」等を配置し、経済・経営の各学問領域における専門的基礎知識を体系的に修得します。本科目群は、DP（知識・理解）／（思考・判断）／に強く関連します。</p> <p>③コース科目群では、地域社会の具体的な問題解決を行い、各学問領域における専門</p>

<p>知識を現場で応用できるよう、各学科で必要とされる専門科目を必修化し、それに関連する科目を学問系列ごとに分けて5つのコース科目として配置します。学生は5つのコース「経済コース」、「経営コース」、「地域づくりコース」、「観光ビジネスコース」、「スポーツマネジメントコース」のいずれかに所属します。なお、所属のコース科目で生まれた新たな関心・意欲に応え、幅広い学問領域における専門知識を体系的に修得するため、他のコース科目の履修を推奨します。本科目群は、DP（知識・理解）／（思考・判断）／（関心・意欲・態度）に強く関連します。</p> <p>④関連科目群では、教員免許取得に必要な科目やコミュニケーションスキルを養うための科目等を配置します。本科目群は、DP（知識・理解）／（技能・表現）に強く関連します。</p> <p>⑤演習群では、それまで修得できた知識やスキルを統合するとともにコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、課題発見力、課題解決力等を養成するため、必修科目として「専門演習Ⅰ～Ⅳ」を配置し、学修の集大成として「卒業研究」を配置します。本科目群は、DP（知識・理解）／（思考・判断）／（関心・意欲・態度）／（技能・表現）に強く関連します。</p> <p>（3）特別教育科目では、学生の将来の進路を支援するために特別に置かれている科目です。「スポーツ特別教育科目」を体系的に配置します。本科目は、DP（知識・理解）／（思考・判断）／（関心・意欲・態度）／（技能・表現）に強く関連します。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針 （公表方法：http://www.kiu.ac.jp/about/kiuabout/policy/）</p>
<p>（概要）</p> <p>【知識・技能】</p> <p>①高等学校の教育課程を幅広く修得している。</p> <p>②高等学校までの「国語総合（現代文）」や「英語」の履修を通じて、基礎的なコミュニケーション能力を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>③現代社会の問題について、知識や情報をもとに筋道立てて考え、その内容をわかりやすく表現できる。</p> <p>【主体性・協働して学ぶ態度】</p> <p>④クラブ活動、委員会活動や社会奉仕等を通じて、多様な人々と協働して主体的に学ぶ姿勢を身につけている。</p> <p>⑤経済学や経営学の知識及び学内外での様々な体験を社会で活かしたいという目的意識と意欲がある。</p>

学部等名 現代ビジネス学部 国際社会学科
教育研究上の目的（公表方法： http://www.kiu.ac.jp/about/kiuabout/spirit/ ）
<p>（概要）</p> <p>現代ビジネス学部は、21世紀の社会を展望し、グローバル化の進む世界や地域のビジネス組織、すなわち企業、自治体、民間団体などで活躍できる豊かな教養と知識を有する人材を養成する。</p> <p>・現代ビジネス学部国際社会学科は、異文化理解や国際協力に関する知識を身につけ、現代社会のグローバルな変化に対応できる能力を養い、国際社会だけでなく地域社会でも活躍する人材を養成する。</p>
卒業の認定に関する方針（公表方法： http://www.kiu.ac.jp/about/kiuabout/policy/ ）
<p>（概要）</p> <p>【知識・理解】</p> <p>①人文社会自然科学を基礎とした幅広い教養を身につけている。</p> <p>②国際社会科学や異文化理解の専門的知識及びその活用方法を身につけている。</p> <p>【思考・判断】</p> <p>③ローカルな視点とグローバルな視点を併せ持ち、現代の経済、社会、文化について論理的に考えて分析し考察することができる。</p> <p>④現代社会の多様なフィールドにおける諸課題の解決に向けて、的確な学際的考察及び総合的判断ができる。</p> <p>【関心・意欲・態度】</p> <p>⑤現代社会の諸課題に対して自ら積極的に関心をもち続け、現代社会に貢献することができる。</p> <p>⑥自ら課題を探究し、他者と協力しながら自律的、主体的に課題を解決するための意欲と職業的自律を図るための態度を身につけている。</p> <p>【技能・表現】</p> <p>⑦外国語で書かれた資料や書類を理解し、必要な情報を的確に読み取り討論や意見交換を行うことができる。</p> <p>⑧国際コミュニケーションの手段として必要な、英語や韓国語を中心とした国際対話能力を身につけている。</p>
教育課程の編成及び実施に関する方針 （公表方法： http://www.kiu.ac.jp/about/kiuabout/policy/ ）
<p>（概要）</p> <p>本学科では、定められたディプロマ・ポリシーを達成するため、以下のように教育課程を編成します。</p> <p>(1) 共通教育科目では、教養教育を担うため全学部共通で設定しており、大学での学修の基礎となる知識やスキル、そして豊かな人間性と高い教養を身につけるべく、4つの科目群に区分します。</p> <p>(2) 専門教育科目では、専門教育科目を基礎科目群、基幹科目群、コース科目群、関連科目群、演習群の5つに科目群区分します。</p> <p>①基礎科目群では、グローバル化の進む経済社会、地元北九州の地域特性についての知識を修得させるために、「グローバル経済と生活」、「北九州学」を必修として配置します。また、PBL型の教育により地域の諸課題の解決方策を学生に考えさせることで課題発見力、プレゼンテーション能力、課題へのアプローチ方法、実践力等を身につけるべく、「プラン&プラティクス」を配置します。本科目群は、DP（知識・理解）／（思考・判断）／（関心・意欲・態度）／（技能・表現）に強く関連します。</p> <p>②基幹科目群では、英語運用能力を向上させるためにe-ラーニング授業「PC English Training I」を必修科目として配置します。また、「国際社会入門Ⅰ・Ⅱ」を学科の必修科目として配置します。さらに国際社会を理解するために「国際関係論」、「国際マーケティング論」、「異文化コミュニケーション論」等を配置し、国際社会科学の各学問領域における専門的基礎知識を体系的に修得します。本科目群は、</p>

DP (知識・理解) / (思考・判断) / に強く関連します。

- ③コース科目群では、国際社会の具体的な問題解決を行い、各学問領域における専門知識を現場で応用できるよう、各コースで必要とされる専門科目を必修化し、それに関連する科目を学問系列ごとに分けて3つのコース科目として配置します。学生は3つのコース「英語コース」、「ハングルコース」、「国際コース」のいずれかに所属します。なお、所属のコース科目で生まれた新たな関心・意欲に応え、幅広い学問領域における専門知識を体系的に修得するため、他のコース科目の履修を推奨します。本科目群は、DP (知識・理解) / (思考・判断) / (関心・意欲・態度) に強く関連します。
- ④関連科目群では、教員免許取得に必要な科目やコミュニケーションスキルを養うための科目等を配置します。本科目群は、DP (知識・理解) / (技能・表現) に強く関連します。
- ⑤演習群では、それまで修得できた知識やスキルを統合するとともにコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、課題発見力、課題解決力等を養成するため、必修科目として「専門演習 I ~IV」を配置し、学修の集大成として「卒業研究」を配置します。本科目群は、DP (知識・理解) / (思考・判断) / (関心・意欲・態度) / (技能・表現) に強く関連します。
- (3) 特別教育科目では、学生の将来の進路を支援するために特別に置かれている科目です。「スポーツ特別教育科目」を体系的に配置します。本科目は、DP (知識・理解) / (思考・判断) / (関心・意欲・態度) / (技能・表現) に強く関連します。

入学者の受入れに関する方針

(公表方法：<http://www.kiu.ac.jp/about/kiuabout/policy/>)

(概要)

【知識・技能】

- ①高等学校の教育課程を幅広く修得している。
- ②高等学校までの「国語総合（現代文）」や「英語」の履修を通じて、基礎的なコミュニケーション能力を身につけている。

【思考・判断・表現】

- ③現代社会の問題について、知識や情報をもとに筋道立てて考え、その内容をわかりやすく表現できる。

【主体性・協働して学ぶ態度】

- ④クラブ活動、委員会活動や社会奉仕等を通じて、多様な人々と協働して主体的に学ぶ姿勢を身につけている。
- ⑤国際社会科学や異文化理解の知識及び学内外での様々な体験を社会で活かしたいという目的意識と意欲がある。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<http://www.kiu.ac.jp/about/kiuabout/information/>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	3人	—					3人
法学部	—	10人	6人	0人	3人	0人	19人
現代ビジネス学部	—	21人	16人	0人	6人	0人	43人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		46人					46人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)	公表方法： http://www.kiu.ac.jp/academicpursuits/propulsion/achievement/						
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
<p>本学では、教育の質的向上に向けた全学的な教育支援政策の企画・開発及びFD（ファカルティ・ディベロップメント）活動の推進・支援を行うため、FD委員会を設置しています。</p> <p>FD委員会では、毎年FD計画（年間計画）を策定し、教育の質的向上のため、カリキュラムマネジメントの運用方法、PROG テスト結果に基づく学生指導方法、高大接続に関する内容、本学教務システムの活用方法等に関する研修会を行っています。また、授業の内容及び方法を改善するため、学生に対し、各学期末に授業評価アンケートを実施し、アンケートの分析結果は、FD委員会で対策を講じるとともに大学のホームページ上で公表しています。教員相互の授業参観も定期的実施するなど授業改善に取り組んでいます。</p>							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
法学部	150人	168人	112%	600人	644人	107.3%	—人	—人
現代ビジネス学部	350人	378人	108%	1,400人	1,453人	103.8%	—人	—人
合計	500人	546人	109.2%	2,000人	2,097人	104.9%	—人	—人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
法学部	129人 (100%)	3人 (2.3%)	111人 (86.0%)	15人 (11.6%)
経済学部	221人 (100%)	0人 (0%)	185人 (83.7%)	36人 (16.3%)
国際関係学部	72人 (100%)	0人 (0%)	58人 (80.6%)	14人 (19.4%)
合計	422人 (100%)	3人 (0.7%)	354人 (83.9%)	65人 (15.4%)

(主な進学先・就職先) (任意記載事項)

【建設業・設備工事業】大島建設(株)/大東建託(株)/株エムビーエス/丸栄産業(株)/大榮(株)/長崎船舶装備(株)/株古島/株秀電社/コウフ・フィールド(株)/ユーミーコーポレーション(株)/株山九ロードエンジニアリング/株中園/生和コーポレーション(株) 西日本本社/大和ハウスリフォーム(株)/株HOUSEinnovation/株SEKI/株木村工業/九軌建設(株)/北九州信和(有)/有福島建設/大熊電機(株)/日高電気工業(株)

【製造業】(食料品・飲料) フンドーキン醤油(株)/翁酒造(株)/株ひよこ/株やまやコミュニケーションズ/株山口油屋福太郎/レッドブル・ジャパン(株)/株ナック/(家具・装備品) アイリスオーヤマ(株)/(化学) 株コーサー/株フジコー/日進化学(株)/(プラスチック) 三甲(株)/株タカギ/丸栄化工(株)/(窯業・土石) 株黒崎播磨セラコーポ(株)/白石総合コンサルタント/(鉄鋼・金属) 吉川工業(株)/信和鋼板(株)/西日本スチールセンター(株)/日本鉄塔工業(株)/S A N E I (株)/株九研/株東洋プレジジョン/日章工業(株)/有野崎金属/(非鉄金属) 中外鋳業グループ/(業務用機械・電子・電気・情報通信器具) 株三井ハイテック/株マツシマメジャテック/今治造船(株)/パナソニックシステムソリューションズジャパン(株)/三陽工業(株)/株ニッチツ/小池酸素工業(株)/株三福/後藤工業(株)/三扇工業(株)

【生活インフラ】 株近代プラント

【情報通信サービス業】 株YE DIGITAL Kyushu/株吉川システック/東京コンピュータサービス(株)/グラフテック(株)/メディアファイブ(株)/株KDD I エボルバ/株NTS 通信サービス/株ソフネット/株ネットワークテクノス/株ピア/株ユニテックス/株ブロードエンタープライズ/天棋国際(株)

【運輸・倉庫業】 ANA 福岡空港(株)/九州旅客鉄道(株) (J R九州) /関光汽船(株)/高千穂倉庫運輸(株)/山九(株)/小倉運送(株)/大友ロジスティクスサービス(株)/博多運輸(株)/株サカイ引越センター/株バンテック九州/株ジェネック/株辰巳商會/戸畑港運輸(株)/西日本海運(株)/株マルハニチロ物流/株安川ロジステック/株上組/株九州日新/鳥栖倉庫(株)/株NBS ロジソル/極東海運(株)/日本貨物鉄道(株)

【卸売業】 ヤマエ久野(株)/株トーホー/不二貿易(株)/有プラグイン/西日本フード(株)/タキゲン製造(株)/井上金属(株)/株サードプレイス/株ソノダ/株デンヒチ/三鋼販西日本(株)/福岡小松フォークリフト(株)/山崎建材(株)/小野建(株)/菱信産業(株)/ブリヂストンタイヤジャパン(株)/マル井産業(株)/ラディックス(株)/リックス(株)/株エフティグループ/株キシヤ/株サニックス/株スズキ自販長崎/株ドーワテクノス/株フルタイムシステム/株総合システム/上野精機(株)/前田機工(株)/中央工機産業(株)/渡辺パイプ(株)/日立空調九州(株)/LK(株)/カナヤ医科器械(株)/クリタ・ケミカル西日本(株)

【小売業】 株サンリブ/株エービーシー・マート/株ザザホラヤ/株ザラ・ジャパン/株海星ムサシ/トヨタカローラ博多(株)/トヨタカローラ福岡(株)/ネットトヨタ山口(株)/ネットトヨタ北九州(株)/リベラルソリューション(株)/株スマートテック/株スマートパワーサービス/株ネクステージ/株ビッグモーター(ビッグモーターグループ) /株ヨドバシカメラ/株レッドバロン/福岡スバル(株)/福岡トヨタ自動車(株)/北九州ダイハツ販売(株)/ダイコー通産(株)/ダイレックス(株)/ブリヂストンタイヤジャパン(株)/株ゲオホールディングス/株サンキュードラッグ/株ジェムキャッスルゆきざき/株タカミヤ/株ドラッグストアモリ/株ミスターマックス・ホールディングス/株中原三法堂/株田中石油店/日本ライフサポート(株)/タンスのゲン(株)

【金融・保険業】 福岡ひびき信用金庫/速賀信用金庫/大分みらい信用金庫/萩山口信用金庫/FFG 証券(株)/いちよし証券(株)/ジェイリース(株)/第一生命保険(株)/日本生命保険相互会社/明治安田生命保険相互会社

【不動産業】 住友不動産販売(株)/大英産業(株)/株不動産のデパートひろた/株不動産中央情報センター/株エイブル/株えんホールディングス/株クレ・コーポレーション/株ハウジングプラザ/株リグラス/株未来都市開発/有アイユーホーム/Amazing Hug(株)/株OMNIA/

【物品賃貸業】 タイムズモビリティネットワークス(株)/株トヨタレンタリース山口/株リョーキ/

【専門サービス業】 株木村総合研究所/計測検査(株)/税理士法人 TA PARTNERS/弁護士法人たくみ法律事務所/株FR/

【広告業】 株西鉄エージェンシー/

<p>【観光・宿泊業】(株)エイチ・アイ・エス/アパホテル(株)/(株)山結/(株)西鉄ホテルズ/ワタキューセイモア(株)/(株)神美/パームツリーリゾート(株)/(株)サニーライフ/(株)サンレー/(株)ラック</p> <p>【娯楽・飲食・サービス業】日本中央競馬会/(株)プロダクション人力舎/355(株)/movas/(株)THINK フィットネス/(株)ワイドレジャー/ (株)東祥/chawan/くら寿司(株)/(株)HUGE/(株)カスタマーズデライト/(株)あきんどスシロー/(株)スシローグローバルホールディングス/(株)デサキ/(株)ドリーム/(株)はま寿司/(株)リンガーハット/(株)ワン・ダイニング/(株)物語コーポレーション/(有)丸幸ラーメンセンター/合同会社まるたかフーズ</p> <p>【学校・教育業】福岡県立北筑高等学校(常勤講師)/学校法人角川ドワンゴ学園/(株)九州不動産専門学院/アイオ(株)/(株)WITS/(株)タップカンパニー/(株)一二/(株)総合資格/公益財団法人 秋月財団</p> <p>【医療・社会福祉業】新行橋病院/北九州病院/なかお歯科戸畑駅前セントラル歯科/中森眼科医院/(株)シダー/社会福祉法人千種会</p> <p>【複合サービス業】日本郵便(株)/宮崎大学生生活協同組合/全国農業協同組合連合会大分県本部/長崎西彼農業協同組合/マルイ農業協同組合/北九州農業協同組合</p> <p>【労働派遣業】Supriev(株)/THE パートナーズ(株)/UT コンストラクション会社/サクセス協同組合/ライクスタッフィング(株)/ワールドエンタプライズ(株)/(株)アウトソーシングテクノロジー/(株)アテナ/(株)ウィルオブ・ファクトリー/(株)ウィルオブ・ワーク/(株)エイジェック/(株)エル・エス・コーポレーション/(株)テクノプロ・コンストラクション/(株)ビーネックスグループ/(株)マーキュリー/(株)ワールドインテックファクトリー事業部/日研トータルソーシング(株)/(株)アウトソーシング</p> <p>【警備業】ALSOK福岡(株)/セコム(株)/(株)セノン/(株)にしけい/(株)ビケンテクノ/(株)ワールドインテック</p> <p>【公務】航空自衛隊/陸上自衛隊/熊本県警察本部/警視庁/広島県警察本部/大分県警察/田川地区消防組合/福岡県警察本部/北九州市上級消防士/行橋市役所/吉富町役場/宮崎市役所/佐世保市役所/川崎町役場/北九州市役所(上級)</p> <p>(http://www.kiu.ac.jp/career/career_about/naitei_torikumi/parents/)</p>
(備考)

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
法学部	154人 (100%)	122人 (79.2%)	16人 (10.4%)	16人 (10.4%)	人 (%)
経済学部	262人 (100%)	196人 (74.8%)	10人 (3.8%)	56人 (21.4%)	人 (%)
国際関係学部	93人 (100%)	65人 (69.9%)	10人 (10.8%)	18人 (19.4%)	人 (%)
合計	509人 (100%)	383人 (75.2%)	36人 (7.1%)	90人 (17.7%)	人 (%)

(備考) 国際関係学部入学者 1 名が経済学部へ転学部したため、国際関係学部の入学者を 1 名減らし、経済学部の入学者を 1 名増やした。
留年の主な理由については、留学や学業不振である。中退の主な理由については、経済的困窮、学業不振、進路変更などである。

⑤ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>【様式第 2 号の 3 より再掲】</p> <p>授業計画書(シラバス)は、教務委員会において開講前年度の 9 月以降に次年度開講科目の調整を行った後、シラバス作成要領等の検討を行っています。</p> <p>その後、1 月に教員は各項目における記入上の注意事項等を纏めた「シラバス作成について(記載要領)」に基づいて、KIU ポータルに学生が理解しやすいように作成すること</p>

としています。

各科目担当教員が授業計画書（シラバス）を作成したのち、教務部長及び教務委員が記載内容等について確認を行い、3月に公開しています。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

（概要）

【様式第2号の3より再掲】

本学では、以下のようにディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与に関する方針）を策定しています。

本学の建学の理念である「塾的精神」による人材養成を基本理念とし、学則第1条に定める北九州の地域に立脚し、国際的視野を持った理論・実践両面に明るい人材を養成することを目的としています。本学の課程を修め、124単位の単位取得と必修等の条件を充たした上で、以下の項目を体系的に修得した者に学位を授与します。

【知識・理解】

- ①人文社会自然科学を基礎とした幅広い教養を身につけている。
- ②学位の専攻分野の専門的知識と技能を身につけている。

【思考・判断】

- ③幅広い教養と専門分野の知識から論理的に考える能力を修得しており、その知識を使って現代社会の問題を分析し考察することができる。
- ④現代社会の多様なフィールドにおける諸課題の解決に向けて、的確な学際的考察及び総合的判断ができる。

【関心・意欲・態度】

- ⑤現代社会の諸課題に対して自ら積極的に関心をもち続け、現代社会に貢献することができる。
- ⑥グループで協力しながら問題を解決する態度、生涯学び続け成長し続ける意欲を修得している。

【技能・表現】

- ⑦必要な情報を幅広く収集し、的確に整理・分析することができる。
- ⑧グローバル化した現代社会において、活躍できる高度なコミュニケーション能力を身につけている。

ディプロマ・ポリシーは、本学大学ホームページ上に掲載しているほか、大学案内、募集要項、入学後学生に配布される学生便覧等に掲載し、周知しています。

ディプロマ・ポリシーに示した能力を卒業生が修得できているか、教育課程表が適切に機能しているか点検・評価するために、アセスメント・ポリシーを策定しています。

本学の卒業要件については、全学部とも、本学に4年以上在学し、各学部の教育課程に従い、124単位以上を修得しなければなりません。

卒業判定については、卒業要件を充足した学生について、教務委員会において対象者の原案を作成し、教授会で意見を聴取したうえで、学長が卒業を認定し、卒業証書・学位記を授与しています。

学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
法学部	法律学科	124単位	有	48単位
現代ビジネス学部	地域経済学科	124単位	有	48単位
	国際社会学科	124単位	有	48単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法： http://www.kiu.ac.jp/campuslife/basic/		

学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)	公表方法：
----------------------------	-------

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<http://www.kiu.ac.jp/about/campasmap/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
法学部	法律学科	600,000円	100,000円	280,000円	その他の欄に計上した費用は教育充実費
現代ビジネス学部	地域経済学科	600,000円	100,000円	280,000円	その他の欄に計上した費用は教育充実費
	国際社会学科	600,000円	100,000円	280,000円	その他の欄に計上した費用は教育充実費

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>修学面での支援では、各学年に演習が開設され、各ゼミ担当教員による会議を行い、担当学生の対応についての話し合いを行っています。</p> <p>1年次の「入門セミナー」では、1学期に2～4回の会議を開催、担当学生の動向について発表し、情報を共有しています。2年次演習、3年次演習では、1学期1回の会議において、担当学生の情報を共有するよう努め、学生が進級する際には、ゼミ担当教員同士で学生の情報を共有しています。基礎教育センターに学修生活アドバイザーを配置し、学修面、生活面の問題についてアドバイスを行っています。</p> <p>成績不振者を対象とした成績相談会は、毎年各学期開始時に実施し、保護者面談会は、毎年秋学期開始時に実施（本学及び県外2会場）しています。学生・保護者と教員が面談をすることにより、成績や単位取得状況の把握や今後の改善点を確認します。</p> <p>なお、成績不振者に対しては、基礎教育センターでの学生個々人に応じた学習方法等に対する手厚いサポートを実施しています。</p> <p>その他、同一科目を複数で担当する場合、担当教員で各担当講義の進捗状況の確認や担当学生の動向について情報の共有を図っています。</p> <p>経済面での支援では、学内の奨学金を充実させると共に、学外奨学金制度についてもその活用の周知を図ることにより、学生の経済的基盤確保に積極的に取り組んでいます。</p> <p>学内の奨学金には、給与型奨学金があり、学術奨学金や大学院奨学金その他、入学試験結果の成績優秀者に対する奨学金制度、自然災害による被災学生に対する授業料減免制度、サークル学生に対するサークル奨学生制度を設けています。</p> <p>学外奨学金としては、主に高等教育の修学支援新制度、日本学生支援機構や地方公共団体の奨学制度の活用を促しており、本学同窓会からの給与型奨学金も用意されています。</p> <p>奨学金制度の充実により、保護者及び学生の経済的負担の軽減を図り、学生が学業に専念し、学生の本文に則した大学生活を送れるよう取り組んでいます。</p> <p>(http://www.kiu.ac.jp/campuslife/shogaku/)</p>

b. 進路選択に係る支援に関する取組

(概要)

キャリア支援室には5名のスタッフのほかに、「就職アドバイザー」2名が常駐しています。就職に関するどんな悩みでも受付けています。また、キャリア支援室では、4年間の学びを社会において役立てるために、さまざまな支援行事を積極的に展開しています。

■ゼミ出前講座（6月）

3年生のゼミで、現在の雇用情勢や就職活動の基本事項をレクチャーします。併せて、進路登録カードの記入やモバイルメール登録、就活ナビ登録など就職活動に必要な手続きを行います。

■リクナビ・マイナビ活用講座（6月）

就活ナビの活用術をはじめ、オープンエントリーシートの概要説明も行います。

■SPI就職試験対策テスト（10月）

就職試験で出題される一般常識や言語・非言語問題を本番形式で受験し、現時点の実力を正確に把握します。受験者にはキャリア系科目の講義と連携し問題解説は、参加者には「最重要頻出問題集」を配付します。

■業界研究セミナー（10月）

様々な業界から人事担当者を招いて、仕事内容についてレクチャーしてもらいます。就職活動を本格的に始動する前に、職業理解を深める業界研究は必要不可欠です。

■OpenES 攻略講座（11月）

多くの企業が導入しているオープンエントリーシートの書き方を人事の目線で指導していきます。最終的には履歴書が各自で作成できるようになります。

■筆記試験、面接試験攻略講座（11月）

就職活動に必要な基本的スキルを高めるため、筆記試験対策、履歴書の書き方、面接対策等を実施します。

■就勝ステップアップ研修（2月）

就職戦線に備え、2日間の集中研修を実施します。グループディスカッション、グループ面接、個人面接等の各種面接対策に重点をおいた実践的なプログラムを実施します。

■女子学生限定・就活のためのヘアメイク講座（2月）

就活メイクは、面接官に好印象を与えるとても重要な鍵になります。ヘアメイク講座では、清潔感あふれる身だしなみをベースにした「就活メイク」をトレーニングします。

(http://www.kiu.ac.jp/career/career_about/naitei_torikumi/)

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

学生の心身の健康保持・推進、安全・衛生面への配慮として、保健室とやわらかカフェ（学生相談室）を設けています。保健室では、健康診断及び事後措置等の通常の保健室業務の他、健康教育や相談業務を中心とした活動を行っています。

健康診断では、受診率のアップと健康診断結果に基づく事後指導の徹底を重点的に行っています。やわらかカフェは、カウンセラー（臨床心理士）を配慮し、心身ともに健康な学生生活の寄与に取り組んでいます。

(<http://www.kiu.ac.jp/campuslife/counseling/>)

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<http://www.kiu.ac.jp/about/kiuabout/information/>

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。